

この建物は、中間検査の対象建物です

中間検査 (第二十六号様式)

特定工程(中間検査時期)

- | | | |
|--|-----------|-----------------------|
| <input checked="" type="checkbox"/> 木造 | | 屋根工事完了後 |
| <input type="checkbox"/> 3階を木造とした混構造 | RC造 | 2階梁・床の配筋工事完了後 |
| | S造 | 鉄骨建て方工事完了後 |
| <input type="checkbox"/> RC造 | | 2階梁・床の配筋工事完了後 |
| <input type="checkbox"/> S・SRC造 | | 鉄骨建て方工事完了後(一階もしくは第一節) |

検査の予約

- ・電話で予約して下さい。
- ・検査日の**4日前(土・日・祝日含む)**から「中間検査申請書」を受け付けています。

確認する事項(検査時に提出して下さい)

木造	コンクリート配合報告書・圧縮試験の結果(1週強度、4週強度は完了時まで提出。) 鉄筋ミルシート、写真(根切りから基礎配筋及び隠ぺい部分等) 中間検査チェックシート(中野区版、確認申請書副本に添付しています。)
3階を木造とした混構造	コンクリート配合報告書・圧縮試験の結果、鉄筋引張試験成績書、杭ずれ寸法(杭がある場合) 溶接部第三者検査成績書等、写真(根切りから基礎配筋及び隠ぺい部分等) 中間検査チェックシート(中野区版、確認申請書副本に添付しています。)
S・RC・SRC造	コンクリート配合報告書・圧縮試験の結果、鉄筋引張試験成績書、杭ずれ寸法(杭がある場合) 溶接部第三者検査成績書等、写真(根切りから基礎配筋及び隠ぺい部分等) 中間検査チェックシート(中野区版、確認申請書副本に添付しています。)

申請手数料

30㎡以内	9,900円	500超～1,000㎡以内	34,000円
30超～100㎡以内	11,000円	1,000超～2,000㎡以内	46,000円
100超～200㎡以内	15,000円	2,000超～10,000㎡以内	104,000円
200超～500㎡以内	21,000円		

手数料の算定基準は、木造(主要構造部の一部を含む)の場合は、延べ床面積です。
RC・S・SRC造は、1・2階(地階も含む)の床面積の合計です。

完了検査 (第十九号様式)

検査の予約

- ・電話で予約して下さい。
- (確認申請で設備の審査があった場合は、設備担当へ予約して下さい)
- ・検査日の**7日前(土・日・祝日含む)**から「完了検査申請書」を受け付けています。

申請手数料(特定工程の中間検査を受けた場合)

30㎡以内	11,000 (9,900)円	500超～1,000㎡以内	37,000 (36,000)円
30超～100㎡以内	12,000(11,000)円	1,000超～2,000㎡以内	52,000 (49,000)円
100超～200㎡以内	16,000(15,000)円	2,000超～10,000㎡以内	124,000(115,000)円
200超～500㎡以内	23,000(21,000)円		

手数料の算定基準は延べ床面積です。

中野区建築分野建築確認・検査担当
TEL 3228 - 5596

中間検査チェックシート

交付番号

建築主名

監理者名

印

意匠

1 敷地

- 面積 変更があった 確認申請と同じ ※○に[✓]でチェック
形状 変更があった 確認申請と同じ
平均地盤面 変更があった 確認申請と同じ

2 配置

壁面から敷地境界線までの距離 (東 m、南 m、西 m、北 m)

3 高さ

平均地盤面からの建築物の高さ (最高の高さ m、軒の高さ m)

4 建築物の形態

- 立面 変更があった 確認申請と同じ
断面 変更があった 確認申請と同じ

設備

- 避雷設備の接地極の位置、材料、抵抗値 確認していない 確認した
排水管が公共下水道等に適正に連結されているか 確認していない 確認した
浄化槽の位置、機種 確認していない 確認した

変更届・計画変更確認申請 申請していない 申請した

変更の内容

監理者が検査をして、不合格にしたこと。そして、どのように訂正させたのか

中間検査チェックシート (木造・枠組壁工法)

※印のある欄は記入しなさい、
 検査機関用
 (検査方法)
 A:目視検査
 B:計測検査
 C:監理者報告

検査項目	検査内容	検査日付		※検査機関用		
		施工者	監理者	※検査方法	※結果	修正
				1次	2次	月日
土工事						
根切り	根切り深さの確認			C		
	支持地盤の確認			C		
	締固めの確認			C		
地業工事						
割り石 砂利	厚さの確認			C		
	締め固め状況の確認			C		
	厚さの確認			C		
ぐい 材料	均し状況の確認					
	径					
	形状					
	長さ					
	長さ			C		
	施工	杭工法の確認			C	
	掘削深さの確認			C		
	支持層の確認			C		
	杭長の確認			C		
	位置・配置の確認			C		
その他	数の確認			C		
	形状の確認			C		
	※杭の芯ずれ状況(補強)の確認			C		
	地盤改良工法の確認			C		
基礎工事	地盤置換工法の確認			C		
基礎	材料	《コンクリート》				
	施工	配合報告書・圧縮強度試験成績書 《鉄筋》 種類・ 径 規格 の確認 基礎(布基礎・ベタ基礎)の種類の確認 配置・位置の確認				
				C		
				C		
				C		

検査項目	検査内容	検査日付		※ 検査方法	※ 検査機関		修正 月日
		施工者	監理者		1次 良否	2次 良否	
小屋	たる木・天井根太			A:B:C			
	製材規格の寸法型式の確認 (204 206 208 210 212)			A : C			
	材質・材種の確認			A : C			
	接合金物 (釘を含む) 材質・種類・の確認			A : C			
	たる木相互の間隔65cm以下の確認			A:B:C			
	たる木又はトラスは、頭つなぎ及び上枠に金物で緊結の確認			A : C			
	小屋組の振れ止めの確認			A : C			
	屋根下地材の確認 構造用合板 (厚 \geq 12mm) パネライクルボード・構造用パネル1・2級 (厚 \geq 15mm) たる木間隔 50 cm 以下・31cmを越えるの場合の確認			A:B:C			
	小屋組の各部材相互及び小屋組部材と 頭つなぎ・屋根下地材の緊結方法・状況の確認			A : C			

※ 不具合の処理 及び検査結果 工事全般の考察	----- ----- ----- ----- -----
-------------------------------	---

※ 受 理 日 年 月 日

※ 中間検査日 年 月 日

※ 検査員氏名 _____

※ 印のある欄は記入しないでください。